

(概要版)

# 小学校国語科「伝統的な言語文化」の指導にかかわる調査研究 — 伝統的な言語文化に親しむ態度の育成に向けて —

長期研修員 内藤 麗子



## 平成23年度から小学校国語科で 「伝統的な言語文化」の学習が始まります

重視されていることは

伝統的な言語文化に生涯にわたって**親しむ態度**の育成

教材は

- ◆ 低学年：昔話や神話・伝承
- ◆ 中学年：文語調の短歌や俳句、ことわざや慣用句、故事成語
- ◆ 高学年：古文や漢文、近代以降の文語調の文章

指導にあたっては

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の各領域の指導を通して行うことが基本

### 新たな指導事項であるため……

指導にばらつきが出やすい

音読や暗唱をたくさん取り入れたいです



小学校段階では、軽く触れる程度でいいと思います

指導にかかわる疑問や不安が生じやすい

児童の興味・関心を高める方法は？



中学校の古典の授業との違いは？

児童の経験や知識が不明

昔話を知らない子どもが増えてきているという話を聞いたことがあるけれど、実際は？



児童はどんな活動に興味があるの？

**教師と児童の意識を調査し、現状と課題を明らかにすることが必要！**

### こんな調査を実施しました

教師調査<390名>

- ・各学年の教材への児童のなじみやすさ
- ・各学年の教材で重視する活動

「重要だと思うか」「取り入れているか」尋ねました

- ・音読の日常化、多様な方法や形態を取り入れた音読、めあてが明確な音読
- ・想像を広げて読み、互いに交流させること
- ・書く活動の日常化及び文の書き方の指導
- ・学習した漢字や語句を活用させること

- ・指導の成果として期待すること
- ・指導にかかわる疑問、不安

伝統的な言語文化の学習について

伝統的な言語文化の学習とかわりの深い言語活動等について

指導にかかわる教師の考え

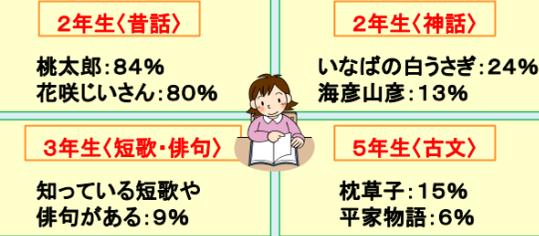
児童調査<2年生：432名、3年生：420名、5年生：424名>

- ・教材にかかわる既存の経験、知識
- ・興味のある学習活動
- ・文語の短歌・俳句、古文に対する印象

- ・音読は好きか、色々な方法で音読したいか、好きな文や詩を繰り返して音読したいか
- ・物語や詩を読むと人物や場面の様子が浮かんでくるか
- ・作文や詩を書くことは好きか
- ・学習した漢字や語句を活用しているか
- ・読書は好きか

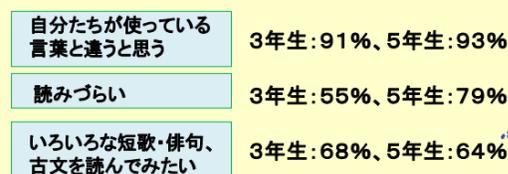
◆ 教師、児童ともに群馬県内公立小学校で調査実施

伝統的な言語文化にかかわる作品についての児童の読書経験や知識



「昔話」は、多くの児童が「読んだことがある」と答えています。それに比べて、「神話」や「短歌・俳句」「古文」は、読んだことがある児童、知っている児童が少なくなっています。

文語や短歌・俳句、古文に対する児童の意識

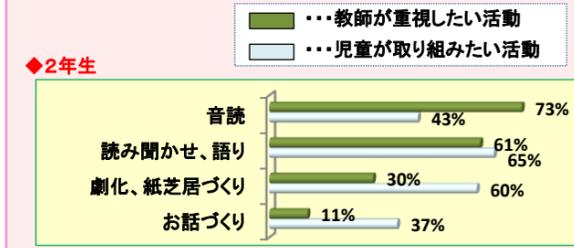


5年生に理由を尋ねました

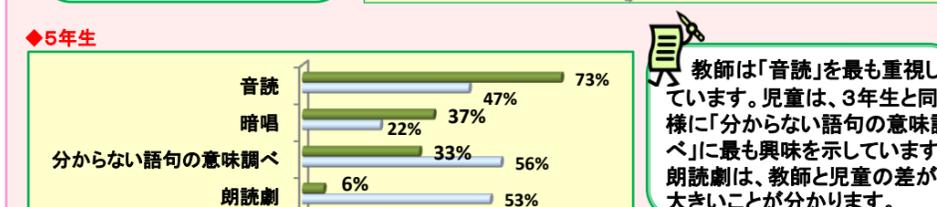
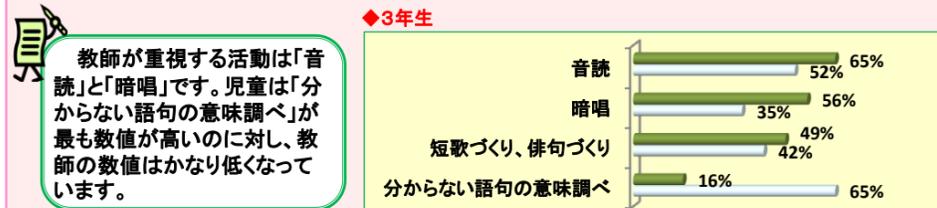
- ◆読みたいと思う児童
  - ・今の言葉との違いが面白い
- ◆読みたいと思わない児童
  - ・読みづらい
  - ・書いてある内容が分からない

現代語との隔たりや読みづらさを感じている児童が半数以上です。その一方で、現代語との違いに興味を示す児童もいます。

教師が重視する学習活動と児童が取り組みたい学習活動の比較



「音読」を重視する教師の割合が高くなっています。「劇化、紙芝居づくり」は教師が3割、児童が6割となっており、互いの差が大きいことが分かります。



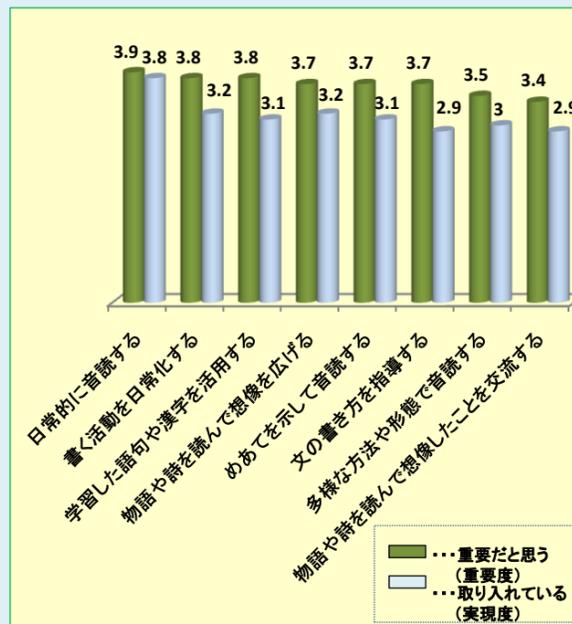
教師は「音読」を最も重視しています。児童は、3年生と同様に「分からない語句の意味調べ」に最も興味を示しています。朗読劇は、教師と児童の差が大きいことが分かります。

作品に触れた経験と作品に対する興味・関心との関連



作品を讀んだ経験が多い児童は、讀んだ経験が少ない児童に比べて、「いろいろな作品を讀んでみたい」と回答する割合が多くなっています。作品に触れた経験は、興味・関心と関連していることが分かります。

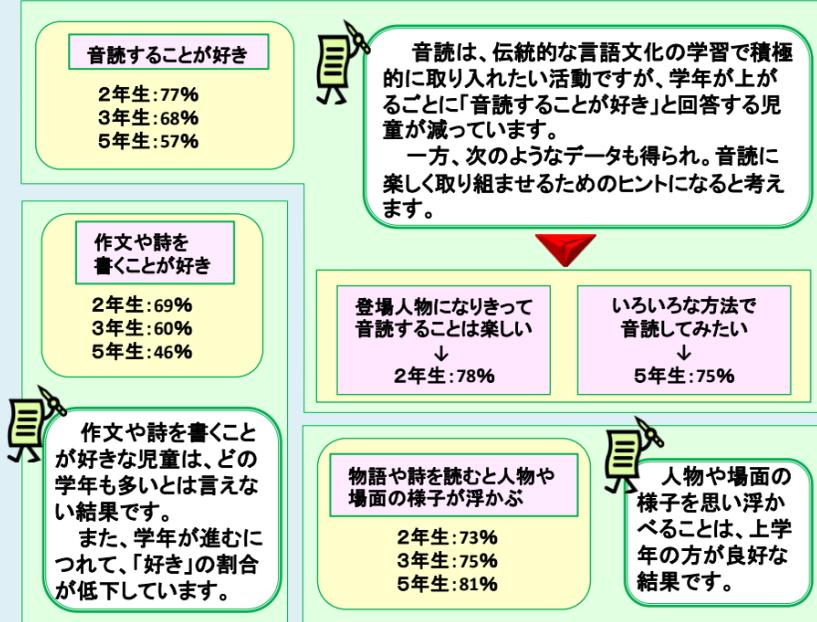
かかわりの深い言語活動に対する教師の考え



あてはまる: 4点、ややあてはまる: 3点、あまりあてはまらない: 2点、あてはまらない: 1点とし、平均を算出しました。

「日常的に音読する」は、重要度と実現度が共に高くなっています。「物語や詩を讀んで想像したことを交流する」と「文の書き方を指導する」は、他の項目より実現度が低くなっています。また、全項目で「実現度」が「重要度」を下回っています。

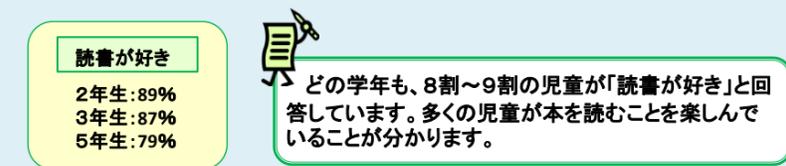
かかわりの深い言語活動に対する児童の考え



音読は、伝統的な言語文化の学習で積極的に取り入れたい活動ですが、学年が上がることにより「音読することが好き」と回答する児童が減っています。一方、次のようなデータも得られ、音読に楽しく取り組ませるためのヒントになると考えます。

作文や詩を書くことが好きな児童は、どの学年も多いとは言えない結果です。また、学年が進むにつれて、「好き」の割合が低下しています。

読書が好きな児童の割合



次のようなことも明らかになりました

- ◆読書が好きな児童は、伝統的な言語文化にかかわる作品への興味・関心も高い。
- ◆日常的に音読している学級では「音読が好き」と回答した児童の割合が多い。(2年生)
- ◆日常的に音読している学級では「好きな文や詩を繰り返して音読したい」と回答した児童の割合が多い。(5年生)
- ◆多様な方法や形態で音読している学級では「物語や詩を讀むと人物や場面の様子が浮かぶ」と回答した児童の割合が多い。(3年生)

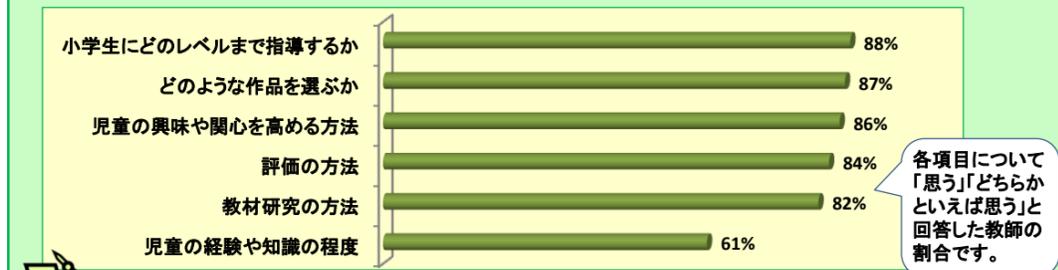
指導の成果として、教師が期待していること



各項目について「思う」「どちらかといえば思う」と回答した教師の割合です。

「言い回しやリズムに慣れること」「小学校での学習が中学校で生かされる」ことへの期待が高いことが分かります。それに対して、「文語で書かれた文章の内容を読み取る」については、非常に数値が低くなっています。

指導にあたり、疑問や不安に思うこと



各項目について「思う」「どちらかといえば思う」と回答した教師の割合です。

伝統的な言語文化は新しい指導事項のため、ほとんどの項目で80%を超えています。そんな中で、「児童の経験や知識の程度」については、他の項目よりも疑問や不安だと思ふ教師が非常に少なくなっています。

これらの調査結果を踏まえ、伝統的な言語文化に親しむ態度の育成に向けて、3つ、提言をします。次頁をご覧ください。

# 提言

## ～伝統的な言語文化に親しむ態度の育成に向けて～

児童と作品との出会わせ方を工夫すると共に、興味・関心を踏まえた学習活動を設定しましょう

「楽しそうだな、読んでみたいな」という意欲が高まるような導入としては・・・

絵本や紙芝居の読み聞かせ

とっても楽しそうなお話だな



作者や作品に関するクイズ

かぐや姫の身長は？

- ① 15cm
- ② 9cm
- ③ 3cm



映像や写真、実物などの提示

平安時代の人々の生活に興味がわいてきたよ



教師と児童の意識の差を踏まえた学習活動の設定としては・・・

声に出して楽しく読む活動

友達といっしょに読むと楽しいな



登場人物になりきって読むと楽しいね



実態に応じ、内容の理解に必要なことも取り上げて

ちはやぶるって、どんな意味なんですか？



「勢いが激しい」という意味ですよ



なるほど！いい言葉だな。



文語に対する児童の実態の差を考慮した指導としては・・・

現代語訳の併用

冬はどめて雪のふりたるはあらず

冬は早朝がいい雪がふったのはい言うまでもない



今の言葉に直した文を読んだら、意味が分かって楽しくなってきたよ

今と昔の言葉の違いに着目

昔は「あした」は「朝」という意味だったんだね



「かなし」は、「かわいい」という意味だったんだね



伝統的な言語文化の学習とかかわりの深い言語活動等を、日ごろから充実させましょう

楽しみながら繰り返して音読する活動の習慣化としては・・・

多様な方法や形態の工夫

- ・先生の後について読みましょう
- ・隣の友達と1文ずつ交代で・・・
- ・グループで役割を決めて・・・
- ・登場人物になったつもりで動作を入れて・・・



書く活動にかかわる指導の改善としては・・・

きめ細やかな書くことの指導

今日は書き始めの工夫と、たとえを使った書き方をみんなで確認してから作文を書きます



どんなふうにかいたらいいか分からなかったから書きやすいな



読書との関連付けとしては・・・

関連図書の紹介

- ・日本の神話コーナー
- ・清少納言コーナー
- ・夏目漱石コーナー・・・



同一作品の読み比べ

いろいろな「桃太郎」を読んで、お気に入りの「桃太郎」を選びましょう



指導にかかわる情報の収集と共有化に努めましょう

指導にかかわる情報の積極的収集としては・・・

まず、自分のクラスの児童の実態に関する情報を集めてみよう



研修会や公開授業に参加して、指導方法を学びたいと思います



指導にかかわる情報の共有化としては・・・

児童の実態について情報交換しましょう

指導にあたっての疑問や不安を相談し合ひましょう



6年間を見通し、系統的に指導するために、年間指導計画を学校全体で見直しましょう

### 調査研究の成果と課題

- 成果**
- 調査により次の点が明らかになり、親しむ態度の育成に向けての提言を行うことができました。
    - ・伝統的な言語文化にかかわる児童の経験や知識は、学習に対する興味・関心と関連している。
    - ・教師が重視する学習活動と児童が取り組みたい学習活動には、差が多く見られる。
    - ・かかわりの深い言語活動では、音読と書くことの活動について指導の工夫・改善が必要である。

- 課題**
- 実際に伝統的な言語文化の授業が実施された後に、その状況を調査して課題を明らかにし、改善策を具体化する必要があると考えます。